

令和7年度に市立中学校で使用する教科用図書を選定について（答申）

江田島市教科用図書採択地区中学校選定委員会

令和6年8月9日

令和7年度に市立中学校で使用する教科用図書の選定結果

種目	発行者	発行者の略称
国語	光村図書出版株式会社	光 村
書写	教育出版株式会社	教 出
社会（地理的分野）	東京書籍株式会社	東 書
社会（歴史的分野）	東京書籍株式会社	東 書
社会（公民的分野）	東京書籍株式会社	東 書
地図	株式会社帝国書院	帝 国
数学	東京書籍株式会社	東 書
理科	東京書籍株式会社	東 書
音楽（一般）	株式会社教育芸術社	教 芸
音楽（器楽合奏）	株式会社教育芸術社	教 芸
美術	光村図書出版株式会社	光 村
保健体育	東京書籍株式会社	東 書
技術・家庭（技術分野）	東京書籍株式会社	東 書
技術・家庭（家庭分野）	東京書籍株式会社	東 書
英語	光村図書出版株式会社	光 村
道徳	日本文教出版株式会社	日 文

選定結果資料 種目 [国 語]

発行 者名	東 書	三 省 堂	教 出	光 村
特 徴	<p>○情報の扱い方に関する事項については、各学年とも、本編に情報活用に係る単元を設定し、「情報と論理の学び」の前後に、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」、「読むこと」と「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</p> <p>○考え方を形成する活動の工夫については、第3学年「話し合うこと」における合意形成に関する単元において、学習の流れを示し、多様な意見の想定や合意形成を目指す話し合いの例等の資料でポイントを掲載している。</p> <p>○見通しを立てて学習するための構成上の工夫については、第3学年「書くこと」の単元において、学習過程を①批評の対象について知る②対象を観察・分析する③対象を比較して判断する④批評文を書く⑤読み合って評価する、振り返るとしている。</p> <p>○単元の構成については、「読むこと」教材と「書くこと」教材、または「話すこと・聞くこと」教材がセットで単元構成されている。古典単元は、古文、漢文と知識及び技能教材で構成されている。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、58 個の二次元コードがあり、動画による教科書の編集意図や思考方法、探究学習への活用につながる二次元コードがある。</p>	<p>○情報の扱い方に関する事項については、各学年とも、本編に情報活用に係り、「情報を関係づける」という単元を設定し、教材の掲載前に、情報の扱い方について説明している。資料を1つは掲載している。また、同単元内に「話すこと・聞くこと」又は「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</p> <p>○考え方を形成する活動の工夫については、第3学年「話し合うこと」における合意形成に関する単元において、話し合いを計画的に進行するための方法を理解し、活用する。話し合いのこつ、発言、テーマや発言メモについての例を掲載している。</p> <p>○見通しを立てて学習するための構成上の工夫については、第3学年「書くこと」の単元において、学習過程を①題材を決める②対象を観察・分析する③構成を考えて批評文を書く④交流して相互評価する、学びを振り返るとしている。</p> <p>○単元の構成については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。古典単元は、古文、漢文と知識及び技能教材で構成されている。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、78 個の二次元コードがあり、デジタル作品を全88 作品、外部サイトへのリンクによる図書館検索、図書活動につながる二次元コードがある。</p>	<p>○情報の扱い方に関する事項については、各学年とも、本編の情報活用に係る単元、第1学年「情報を得る」、第2学年「情報を捉える」、第3学年「情報を共有する」を設定し、第1・3学年は教材を4つ、第2学年は教材を3つ掲載している。</p> <p>○考え方を形成する活動の工夫については、第3学年「話し合うこと」における合意形成に関する単元において、出された意見の関係をおさえ、進行の仕方や互いの考えを尊重しながら話し合い、結論を出す。意見を共有して話し合う方法や合意形成のための話し合いのポイント等を掲載している。</p> <p>○見通しを立てて学習するための構成上の工夫については、第3学年「書くこと」の単元において、学習過程を①批評する観点を決めて対象を観察する／気づいた特徴を分析する②判断や評価が伝わりやすい構成を考える③効果的な書き出し方やまとめ方を考え、批評文を書く④書いた批評文に説得力があるか考えながら推敲する⑤できあがった批評文を友達と読み合い、助言をもとに自分の文章のよい点や改善点を見つける、振り返るとしている。</p> <p>○単元の構成については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。古典単元は、古文、漢文、近代文学、知識及び技能教材で構成されている。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、48 個の二次元コードがあり、選書の仕方、読書活動、図書紹介や動画によるワールドカフェの仕方やデジタル学習の仕方につながる二次元コードがある。</p>	<p>○情報の扱い方に関する事項については、各学年とも、本編の情報活用に係る単元「情報×SDGs」を設定し、教材を1つは掲載している。また、情報整理の方法として「情報整理のレッスン」、情報と情報の関係を捉える「思考のレッスン」を設定し、情報の扱い方と関連させた「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</p> <p>○考え方を形成する活動の工夫については、第3学年「話し合うこと」における合意形成に関する単元において、複数の発言の共通点を見出す等、具体的な事例を抽象化して整理する言の葉ポケット「提案を検討するとき」「互いの意見を生かして、合意形成をめざすとき」を掲載している。</p> <p>○見通しを立てて学習するための構成上の工夫については、第3学年「書くこと」の単元において、学習過程を①題材を選ぶ②観点を決めて分析する③構成を考える④批評文を書く⑤友達と文章を読み合う、振り返るとしている。</p> <p>○単元の構成については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。古典単元は、古文、漢文、知識及び技能教材で構成されている。第2・3学年は、第1単元に古典教材が1編収録されている。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、68 個の二次元コードがあり、Web 上の力試し問題につながる二次元コードがある。</p>

選定結果資料 種目 [書 写]

発行者名	東 書	三 省 堂	教 出	光 村
<p>特 徴</p>	<p>○文字の書き方の示し方については、朱墨と薄墨で筆使いを点線で筆脈を示している。ポイントとなる箇所に「行書の動きパターン」に当てはまる筆を使いマークで示している。</p> <p>○目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫については、「目標」では、「楷書と行書を使い分けるには、どのような観点が必要か、理解しよう」と示している。</p> <p>○学習の見通しを立てるための構成上の工夫については、「書写の学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示している。</p> <p>○単元・教材等の配列・分量については、【第1学年】39頁＋巻末折込4、毛筆教材数11、硬筆記入欄10頁【第2学年】25頁＋巻末折込4、毛筆教材数9、硬筆記入欄8頁【第3学年】17頁＋巻末折込8、毛筆教材数5、硬筆記入欄1頁、資料編等46頁</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、冒頭に二次元コードの使い方を示すとともに、教科書図書に掲載のデジタルコンテンツ一覧にアクセスできるURLと二次元コードを示している。</p>	<p>○文字の書き方の示し方については、矢印や点線で筆脈を示し、言葉で解説している。主教材となる文字の行書(朱墨と薄墨)と、楷書(黒墨)を並べて示している。</p> <p>○目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫については、「目標」では、「目的や必要に応じて、書体を選択して書くことができる」と示している。</p> <p>○学習の見通しを立てるための構成上の工夫については、「この教科書の使い方」では「教材の構成」と「学習の流れ」を上下2段で対応させて示している。</p> <p>○単元・教材等の配列・分量については、【第1学年】34頁、毛筆教材数7、硬筆記入欄11頁【第2学年】22頁、毛筆教材数4、硬筆記入欄9頁【第3学年】9頁、毛筆教材数1、硬筆記入欄2頁、資料編等33頁＋巻末折込12、毛筆教材数14</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、動画資料(外部サイト)を参照できる二次元コードが3つあり、二次元コード上部に「解説動画」「参考資料」等、確認できる資料の概要が記載されている。</p>	<p>○文字の書き方の示し方については、朱墨と薄墨で筆使いを、矢印や点線で筆順と筆脈を示し言葉で解説している。ポイントとなる箇所に「変化」という文字と写真で筆使いを示している。</p> <p>○目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫については、「目標」では、「書写の学習で身につけた力を、学習活動や日常生活に生かして書こう」と示している。</p> <p>○学習の見通しを立てるための構成上の工夫については、「学習の進め方」では、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。</p> <p>○単元・教材等の配列・分量については、【第1学年】57頁＋折込8、毛筆教材数12、硬筆記入欄12頁【第2学年】30頁＋巻末折込4、毛筆教材数9、硬筆記入欄11頁【第3学年】13頁＋巻末折込4、毛筆教材数6、硬筆記入欄2頁、資料編等30頁毛筆教材数13</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、ワークシートを閲覧できる二次元コードが3つあり、毛筆の主教材を毛筆・硬筆の楷書・硬筆の行書で書字する動画が閲覧でき、それぞれを比較しながら学習できるようになっている。</p>	<p>○文字の書き方の示し方については、ポイントとなる箇所に写真と言葉で筆使いを示している。半紙原寸大の主教材の文字も横に、朱墨と薄墨で筆使いを示している。</p> <p>○目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫については、「目標」では、「場面に応じて、楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解しよう」と示している。</p> <p>○学習の見通しを立てるための構成上の工夫については、「学習の進め方」では、上段に「学習の進め方」下段に「タブレットを活用しよう」を設けている。</p> <p>○単元・教材等の配列・分量については、【第1学年】27頁、毛筆教材数6、硬筆記入欄6頁(書写ブック11)【第2学年】21頁、毛筆教材数4、硬筆記入欄6頁(書写ブック6)【第3学年】23頁、毛筆教材数2、硬筆記入欄4頁(書写ブック4)、資料編等46頁＋巻末折込16、毛筆教材数21、硬筆記入欄5(書写ブック2～3年用4)</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、アニメーション動画が閲覧できる二次元コードが3つあり、二次元コード上部に「動画」「他の文字にもチャレンジ！」等、確認できる資料の概要が記載されている。</p>

選定結果資料 種目 [社会 (地理的分野)]

発行者名	東 書	教 出	帝 国	日 文
特 徴	<p>○国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫については、本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「未来にアクセス」や身に付けた技能を活用する「スキル・アップ」というコーナーを設けている。</p>	<p>○国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫については、本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理の窓」「LOOK!」というコーナーを設けている。</p>	<p>○国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫については、本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理プラス+」「未来に向けて」というコーナーを設けている。</p>	<p>○国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫については、本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理+α」というコーナーを設けている。</p>
	<p>○見方・考え方を働かせるための工夫については、編や章の導入に「地理のミカタ」として、「見方・考え方」を示し、学習のまともに思考ツールを活用して「見方・考え方」を働かせる学習活動を設定している。</p>	<p>○見方・考え方を働かせるための工夫については、編や章の始めのページの下欄の「見方×考え方」をはたらかそうに、「地理の技」「LOOK」として、その編や章で働かせる「見方・考え方」を示している。</p>	<p>○見方・考え方を働かせるための工夫については、章や節の振り返りのページに「技能をみがく」として働かせる「見方・考え方」を示している。</p>	<p>○見方・考え方を働かせるための工夫については、編や章の導入ページや本文ページの見開きページごとに、「スキルUP」として、その編や章で働かせる「見方・考え方」を示している。</p>
	<p>○単元の導入における工夫としては、「日本の諸地域」の単元では、1ページを使い、テーマ、地図やグラフ、写真、キャラクターの吹き出し、コラム、県章・シンボルを記載している。</p>	<p>○単元の導入における工夫としては、「日本の諸地域」の単元では、2ページを使い、学習の視点、地図やグラフ、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。</p>	<p>○単元の導入における工夫としては、「日本の諸地域」の単元では、3ページを使い、イラスト、地図、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。</p>	<p>○単元の導入における工夫としては、「日本の諸地域」の単元では、2ページを使い、テーマ、地図、グラフ、写真、キャラクターと吹き出しを掲載している。</p>
	<p>○内容の構成・配列・分量については、「防災教育」において、日本で見られるさまざまな自然災害、防災・減災に向けた取り組みと課題、ハザードマップの読み取り方と公共交通機関が災害からの復興に果たす役割について2ページずつ記載している。</p>	<p>○内容の構成・配列・分量については、「防災教育」において、自然災害に向き合う、災害から身を守るために、国や県、地域社会でなされている努力について2ページずつ記載している。</p>	<p>○内容の構成・配列・分量については、「防災教育」において、日本のさまざまな自然災害、自然災害に対する備え、イラスト地図やハザードマップを使って、災害の危険性と防災情報の活用について2ページずつ記載している。</p>	<p>○内容の構成・配列・分量については、「防災教育」において、自然災害からみた日本の地域的特色と地域区分、災害に備えるために、地震の仕組みや南海トラフ巨大地震への備え、ハザードマップの使い方について2ページずつ記載している。</p>
	<p>○内容の表現・表記については、「世界の諸地域」において、学習内容と関連付けがなされた写真149点、絵図13点、地図41点、図表・グラフ42点、二次元コード38点が掲載されている。</p>	<p>○内容の表現・表記については、「世界の諸地域」において、学習内容と関連付けがなされた写真113点、絵図8点、地図45点、図表・グラフ37点、二次元コード7点が掲載されている。</p>	<p>○内容の表現・表記については、「世界の諸地域」において、学習内容と関連付けがなされた写真149点、絵図21点、地図34点、図表・グラフ50点、二次元コード20点が掲載されている。</p>	<p>○内容の表現・表記については、「世界の諸地域」において、学習内容と関連付けがなされた写真134点、絵図18点、地図28点、図表・グラフ67点、二次元コード48点が掲載されている。</p>

選定結果資料 種目 [社会（歴史的分野） 1]

発行者名	東 書	教 出	帝 国	山 川
特 徴	<p>○学習課題の示し方については、見開きごとにタイトル、学習内容を表す副題、1時間ごとの学習課題を示している。</p> <p>○学習のまとめの工夫については、「中世の日本」の単元において、探究課題について章の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる活動を設定している。</p> <p>○単元の導入における工夫としては、「近世の日本」の単元において、2ページを使い、二次元コード、小学校の社会で習った言葉、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表、キャラクターの問い等や、資料の読み取り及び話し合い活動を示している。また、章の学習課題とともに、キャラクターの問いにより、章及び各節の学習課題を導くよう構成している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、主権者育成のための工夫として、近代では「イギリスとアメリカの革命」「フランス革命」というタイトルで4ページを使って記載し、「アメリカ独立宣言」「人権宣言」等の資料を掲載している。</p> <p>○内容の表現・表記については、「近代の日本と世界」において、学習内容と関連付けがなされた写真125点、絵図84点、地図32点、図表・グラフ26点、文書資料47点、年表3点、人物57点、二次元コード49点が掲載されている。</p>	<p>○学習課題の示し方については、見開きごとにタイトル、学習内容を表す副題、1時間ごとの学習課題を示している。</p> <p>○学習のまとめの工夫については、「中世の日本」の単元において、章の問いについて、章の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる活動を設定している。</p> <p>○単元の導入における工夫としては、「近世の日本」の単元において、3ページを使い、二次元コード、絵図、写真、地図、キャラクターの問い等や、人物のイラストを用いた年表及び資料の読み取りを示している。また、章の学習課題とともに、章に係る説明を示し、各節のタイトル及び各節に係る歴史的事象を示している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、主権者育成のための工夫として、近代では「王は君臨すれども統治せず」「代表なくして課税なし」というタイトルで4ページを使って記載し、「権利の章典」「人権宣言」等の資料を掲載している。</p> <p>○内容の表現・表記については、「近代の日本と世界」において、学習内容と関連付けがなされた写真109点、絵図80点、地図28点、図表・グラフ32点、文書資料22点、年表3点、人物55点、二次元コード6点が掲載されている。</p>	<p>○学習課題の示し方については、タイトル、1時間ごとの学習課題を示している。</p> <p>○学習のまとめの工夫については、「中世の日本」の単元において、章の問いに対して、章の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる活動を設定している。</p> <p>○単元の導入における工夫としては、「近世の日本」の単元において、1ページを使い、二次元コード、絵図、小学校で学んだ人物と主な出来事のイラストを用いた年表、キャラクターの問いを示し、話し合い活動や予想を書く活動を示している。章や各節の学習課題を示している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、主権者育成のための工夫として、近代では「市民革命の始まり」「人権思想からフランス革命へ」というタイトルで4ページを使って記載し、「アメリカ独立宣言の採択」「人権宣言」等の資料を掲載している。</p> <p>○内容の表現・表記については、「近代の日本と世界」において、学習内容と関連付けがなされた写真129点、絵図73点、地図37点、図表・グラフ38点、文書資料2点、年表3点、人物62点、二次元コード20点が掲載されている。</p>	<p>○学習課題の示し方については、タイトル、1時間ごとの学習課題を示している。</p> <p>○学習のまとめの工夫については、「中世の日本」の単元において、4つの立場で問いについて、自分の考えを文章にまとめる活動を設定している。</p> <p>○単元の導入における工夫としては、「近世の日本」の単元において、2ページを使い、これから学習する内容を日本史と世界史に分けて年表で示すとともに、章全体に係る説明を示し、日本史と世界史の主な歴史的事象の写真や絵図を示している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、主権者育成のための工夫として、近代では「市民革命の時代」というタイトルで4ページを使って記載し、「独立宣言」「バステューユ襲撃」等の資料を掲載している。</p> <p>○内容の表現・表記については、「近代の日本と世界」において、学習内容と関連付けがなされた写真123点、絵図66点、地図31点、図表・グラフ37点、文書資料19点、年表0点、人物47点、二次元コード11点が掲載されている。</p>

選定結果資料 種目 [社会 (公的 分野)]

発行 者名	東 書	教 出	帝 国	日 文	自 由 社	育 鵬 社
特 徴	<p>○公民としての基礎的教養を培うための工夫としては、「対立と合意」の見方・考え方について、部活動を例にあげ課題を、絵図で示している。</p> <p>○「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための工夫としては、持続可能な社会の実現に向けて課題を設定し、「対立と合意」や「効率と公正」等の視点を示している。</p> <p>○課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫としては、持続可能な社会の形成に向けて、近江八幡市を例に、課題の設定 (課題の把握) 、資料の収集と読み取り (課題探究) 、意思決定、提案参加の学習過程を示している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、社会参画への意識を高める工夫として、「現代の民主政治と社会」の章末において2ページを使い、「S市の議員になって条例を作ろう」という学習課題を設定している。</p> <p>○内容の表現・表記については、「私たちと政治」において、学習内容と関連付けがなされた絵図55点、写真123点、地図3点、表・グラフ45点、新聞12点、年表2点、文書資料16点、二次元コード47点が掲載されている。</p>	<p>○公民としての基礎的教養を培うための工夫としては、「対立と合意」の見方・考え方について、合唱コンクールを例にあげ課題を、絵図で示している。</p> <p>○「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための工夫としては、持続可能な未来のために大切にすべき見方や考え方とは何か提案するために、4つの視点を示している。</p> <p>○課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫としては、持続可能な社会の形成に向けて、環境・資源、平和・人権等の課題例が示されている。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、社会参画への意識を高める工夫として、「私たちの暮らしと民主政治」の章末において3ページを使い、「よりよい社会をつくるために、私たちは政治とどのように関わればよいだろうか。」の問いを設定している。</p> <p>○内容の表現・表記については、「私たちと政治」において、学習内容と関連付けがなされた絵図47点、写真78点、地図14点、表・グラフ55点、新聞3点、年表3点、文書資料6点、二次元コード10点が掲載されている。</p>	<p>○公民としての基礎的教養を培うための工夫としては、「対立と合意」の見方・考え方について、防災備蓄倉庫新設を例にあげ課題を、絵図で示している。</p> <p>○「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための工夫としては、持続可能な社会の形成に向けて解決すべき課題について考察するための観点を示している。</p> <p>○課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫としては、テーマに沿って課題を設定し、資料の収集と読み取り、考察、レポートを書く (構想とまとめ) を示している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、社会参画への意識を高める工夫として、「政治と私たち」の章末において2ページを使い、「自分が住むまちをよりよくするための予算案を作成してみよう。」という学習課題を設定している。</p> <p>○内容の表現・表記については、「私たちと政治」において、学習内容と関連付けがなされた絵図47点、写真79点、地図4点、表・グラフ47点、新聞3点、年表1点、文書資料5点、二次元コード14点が掲載されている。</p>	<p>○公民としての基礎的教養を培うための工夫としては、「対立と合意」の見方・考え方について、合唱コンクールを例にあげ課題を、絵図で示している。</p> <p>○「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための工夫としては、これからの社会をどんな社会にしたいかについて考察するために、「効率と公正」の観点を示している。</p> <p>○課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫としては、持続可能な社会の形成に向けて、テーマの設定、資料の収集と読み取り、考察と構想、まとめと評価を示している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、社会参画への意識を高める工夫として、「私たちの生活と政治」の編末において2ページを使い、「自分たちのまちの首長を選ぼう」という学習課題を設定している。</p> <p>○内容の表現・表記については、「私たちと政治」において、学習内容と関連付けがなされた絵図60点、写真110点、地図3点、表・グラフ61点、新聞9点、年表2点、文書資料16点、二次元コード44点が掲載されている。</p>	<p>○公民としての基礎的教養を培うための工夫としては、「対立と合意」の見方・考え方について、部活動を例にあげ課題を、表や文章で示している。</p> <p>○「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための工夫としては、社会のなかでさまざまな生じる対立から合意を形成していくための視点を示している。</p> <p>○課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫としては、持続可能な社会の形成に向けて、課題をみつめよう、選択した課題について調べよう、解決の方法を考えてみよう、卒業論文にまとめる手順を示している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、社会参画への意識を高める工夫として、「日本国憲法と立憲的民主政治」の章末において2ページを使い、「総合的な安全保障問題を考えよう」という学習課題を設定している。</p> <p>○内容の表現・表記については、「私たちと政治」において、学習内容と関連付けがなされた絵図27点、写真71点、地図0点、表・グラフ14点、新聞4点、年表0点、文書資料4点、二次元コード0点が掲載されている。</p>	<p>○公民としての基礎的教養を培うための工夫としては、「対立と合意」の見方・考え方について、部活動を例にあげ課題を、絵図で示している。</p> <p>○「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための工夫としては、持続可能な社会を築いていくために、政治・経済等のテーマを設定している。</p> <p>○課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫としては、持続可能な社会の形成に向けて、テーマを決定、課題探求の計画を立てる、プレゼンテーションをする、内容の見直し、レポート作成する手順を示している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、社会参画への意識を高める工夫として、「私たちの生活と政治」の章末において2ページを使い、「政治のこれから」という学習活動を設定している。</p> <p>○内容の表現・表記については、「私たちと政治」において、学習内容と関連付けがなされた絵図44点、写真116点、地図3点、表・グラフ33点、新聞13点、年表1点、文書資料32点、二次元コード2点が掲載されている。</p>

選定結果資料 種目 [地 図]

発行者名	東 書	帝 国
特 徴	<p>○地図の活用を促す工夫としては、巻頭ページに「この地図帳の地図記号」を記載している。また、「この地図帳の活用方法」を設け、一般図や主題図等の見方や読み取り方、デジタルコンテンツの使い方といった地図の活用方法を記載している。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等を育む工夫としては、歴史、公民、SDGsとの関連を示すマークを設けている。また、「この地図帳でいっしょに“世界旅行”をする」キャラクターとして「ミツパチーズ」を設定し、資料活用コーナーを設けている。</p> <p>○課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫としては、世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、「世界全体」「日本 全体」「世界や日本の地域ごと」「統計」「さくいん」に分類し、インデックスを5つに分類し色分けしている。また、「世界」を「世界全体」「州」、「日本」を「日本全体」「地方」で分類し、色分けしている。</p> <p>○内容の表現・表記については、「地図の種類と縮尺」において、関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けている。また、デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードを83か所記載している。</p> <p>○目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫としては、「この地図帳でいっしょに“世界旅行”をするミツパチーズ」というキャラクターを設定し、資料活用コーナーを設け、地図の活用や学習を深めるためのヒントとなる問いとして157問記載している。</p>	<p>○地図の活用を促す工夫としては、巻頭ページに「この地図帳の凡例」を記載している。また、「この地図帳の使い方」を設け、一般図、鳥瞰図、主題図等の見方や使い方といった地図の活用方法を記載している。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等を育む工夫としては、歴史、公民、SDGsとの関連を示すアイコンや「防災」「環境」「日本との結びつき」コーナーを設けている。また、ページ全体に関わる主題を示す「主題学習」のコーナーを設けている。</p> <p>○課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫としては、世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、「資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」でインデックスを5つに分類し色分けしている。</p> <p>○内容の表現・表記については、「地図の種類と縮尺」において、関連する資料の参照ページを示す「リンク」を設けている。また、デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードを56か所記載している。</p> <p>○目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫としては、「地図で発見！」のコーナーを設け、社会科の学習を、地図をもとに確認したり深めたりする問いとして156問記載しており、学習内容と関連付ける工夫が多くみられる。</p>

選定結果資料 種目 [数 学]

発行者名	東 書	大 日 本	学 図	教 出	啓 林 館	数 研	日 文	
	<p>○知識及び技能の習得を図るための工夫については、第2学年「文字を用いた式の四則計算」の導入において、章のはじめに章の学習内容につながる問いかけとともに、学習を通して身に付ける力を示している。</p>	<p>○知識及び技能の習得を図るための工夫については、第2学年「文字を用いた式の四則計算」の導入において、章のはじめに単元で学習する内容や下学年の学習内容との関連を示している。</p>	<p>○知識及び技能の習得を図るための工夫については、第2学年「文字を用いた式の四則計算」の導入において、章のはじめにふりかえりを設け、下学年の内容を示すとともに、章のとびらで学習内容につながる疑問を示している。</p>	<p>○知識及び技能の習得を図るための工夫については、第2学年「文字を用いた式の四則計算」の導入において、章の前記既習の課題を示すとともに章のとびらで学習内容と日常とのつながりを示している。</p>	<p>○知識及び技能の習得を図るための工夫については、第2学年「文字を用いた式の四則計算」の導入において、章のはじめに日常と関わる課題や節で扱う課題が示されている。ふりかえりを設定している。</p>	<p>○知識及び技能の習得を図るための工夫については、第2学年「文字を用いた式の四則計算」の導入において、章のはじめに日常と関わる課題を設定するとともにふりかえりを設け、章の学習に関する下学年の内容や課題を示している。</p>	<p>○知識及び技能の習得を図るための工夫については、第2学年「文字を用いた式の四則計算」の導入において、章の前記下学年の内容の課題（次の章を学ぶ前記）を示し、問題の中にもふりかえり（確かめ）を設定している。</p>	
特	<p>○数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫については、第2学年「データの活用」の単元において、スーパーマーケットの商品を残すことなく売るために販売数の傾向を説明する場を設定している。</p>	<p>○数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫については、第2学年「データの活用」の単元において、他国と日本のバレーボール選手の身長を比べた傾向を説明する場を設定している。</p>	<p>○数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫については、第2学年「データの活用」の単元において、1月から3月にメルボルンに行く際の服装について説明する場を設定している。</p>	<p>○数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫については、第2学年「データの活用」の単元において、冬日の日数の経年変化について説明する場を設定している。</p>	<p>○数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫については、第2学年「データの活用」の単元において、各都道府県のごみのリサイクル率の傾向を説明する場を設定している。</p>	<p>○数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫については、第2学年「データの活用」の単元において、体力テストのデータの傾向を説明する場を設定している。</p>	<p>○数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫については、第2学年「データの活用」の単元において、冬日が減る傾向にあるのかについて説明する場を設定している。</p>	
徴	<p>○興味・関心を高めるための工夫としては、第1学年「データの活用」の単元において、サッカーチームの記録等、日常生活のかかわりで取り扱われている題材が設定されている。</p>	<p>○興味・関心を高めるための工夫としては、第1学年「データの活用」の単元において、10cmの長さの感覚等、日常生活のかかわりで取り扱われている題材が設定されている。</p>	<p>○興味・関心を高めるための工夫としては、第1学年「データの活用」の単元において、ルーラーキャッチの記録等、日常生活のかかわりで取り扱われている題材が設定されている。</p>	<p>○興味・関心を高めるための工夫としては、第1学年「データの活用」の単元において、紙コップの羽の長さや滞空時間等、日常生活のかかわりで取り扱われている題材が設定されている。</p>	<p>○興味・関心を高めるための工夫としては、第1学年「データの活用」の単元において、紙ふぶきの滞空時間の記録等、日常生活のかかわりで取り扱われている題材が設定されている。</p>	<p>○興味・関心を高めるための工夫としては、第1学年「データの活用」の単元において、気温と天気予報の記録等、日常生活のかかわりで取り扱われている題材が設定されている。</p>	<p>○興味・関心を高めるための工夫としては、第1学年「データの活用」の単元において、高知市の3月の平均気温の比較等、日常生活のかかわりで取り扱われている題材が設定されている。</p>	<p>○興味・関心を高めるための工夫としては、第1学年「データの活用」の単元において、高知市の3月の平均気温の比較等、日常生活のかかわりで取り扱われている題材が設定されている。</p>
	<p>○内容の構成・配列・分量については、巻末問題として「数学の目でふり返ろう」で、学年を越えて働かせることができる「見方・考え方」を確認できるようにしている。</p>	<p>○内容の構成・配列・分量については、巻末問題として「課題学習」で、各領域の内容を総合したり、日常生活や他教科の学習と関連付けたりする課題等を掲載している。</p>	<p>○内容の構成・配列・分量については、巻末問題として「今の自分を知ろう」で、SDG sに関連した課題を取り上げ、身に付けた数学の力を使って、何ができるかを考察する活動を設定している。</p>	<p>○内容の構成・配列・分量については、巻末問題として「学んだことを活用しよう+（プラス）」で、日常生活や他教科の学習と関連付けた課題等を掲載している。</p>	<p>○内容の構成・配列・分量については、巻末問題として「学びをふりかえろう」で、下学年で学んだ内容を復習する問題を掲載している。</p>	<p>○内容の構成・配列・分量については、巻末問題として「数学旅行」で、数学を生かして仕事をしている人のインタビュー記事や、日常生活や他教科の学習と関連した課題等を掲載している。</p>	<p>○内容の構成・配列・分量については、巻末問題として「SDG sと数学」で、SDG sと関連のある暮らしの中の数学の話を掲載している。</p>	
	<p>○内容の表現・表記については、第3学年「関数$y=ax^2$」において、二次元コードから、「動画」「マイ教科書・マップ」「ワークシート」「シミュレーション」「対話シート」「ちよつと確認」「フラッシュカード」「ヒントと解答」「教科リンク」「Web サイト」のデジタルコンテンツを利用できる。</p>	<p>○内容の表現・表記については、第3学年「関数$y=ax^2$」において、二次元コードから、「シミュレーション」「外部のウェブサイト」「外部のウェブサイト」「PDF データ」「資料」「動画」「インタビュー記事」のデジタルコンテンツを利用できる。</p>	<p>○内容の表現・表記については、第3学年「関数$y=ax^2$」において、二次元コードから、「アニメーション」「活動」「データ」「映像」「ふりかえり」「チャレンジ」「バトロール隊」「別の解き方」「解答」「リンク」のデジタルコンテンツを利用できる。</p>	<p>○内容の表現・表記については、第3学年「関数$y=ax^2$」において、二次元コードから、「操作」「動画」「統計ツール」「資料」のデジタルコンテンツを利用できる。</p>	<p>○内容の表現・表記については、第3学年「関数$y=ax^2$」において、二次元コードから、「動かす」「動画」「スライドショー」「リンク」「プログラミング」「問題解説」「補充問題」「例・例題の解説動画」「ふりかえりCBT」「前学年までのまとめ」のデジタルコンテンツを利用できる。</p>	<p>○内容の表現・表記については、第3学年「関数$y=ax^2$」において、二次元コードから、「補充」「イメージ」「資料」「考察」「探究」のデジタルコンテンツを利用できる。</p>	<p>○内容の表現・表記については、第3学年「関数$y=ax^2$」において、二次元コードから、「見る」「ためす」「身に付ける」「図形のまとめ」「調べる」「統計ツール」のデジタルコンテンツを利用できる。</p>	

選定結果資料 種目 [理科]

発行者名	東 書	大 日 本	学 図	教 出	啓 林 館
特 徴	<p>○知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫については、補充的な学習として、単元の導入部に「これまでに学んだこと」を設定している。また、単元末に「確かめ問題」「活用問題」を設定している。</p> <p>○単元の導入において、課題を設定するための工夫については、第3学年「化学変化とイオン」の単元において、「Before & After 学習前に書こう」として「イオンとは何だろうか。」と投げかけている（二次元コードあり）。</p> <p>○科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫については、各学年の巻頭に「探究」の流れを確認しよう」として探究の過程を示している。また、学びをいかして考える活動を設定している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、補充的な観察・実験の数が第1学年28、第2学年40、第3学年29掲載している。</p> <p>○内容の表現・表記については、第3学年巻末の内容において、二次元コードは、「基礎操作」「理科の学習を深めるために」で示している。</p>	<p>○知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫については、補充的な学習として、各単元の導入部に「これまでに学習したこと」という枠組を設定している。また、単元末に、「単元末問題」「読解力問題」を設定している。</p> <p>○単元の導入において、課題を設定するための工夫については、第3学年「化学変化とイオン」の単元において、「これから学習すること」として、水溶液とイオンや化学変化と電池等の内容として、7点を示している。</p> <p>○科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫については、各学年の巻頭に「理科の学習の進め方」として探究の学習の過程を示している。また、結果をもとに考える活動を設定している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、補充的な観察・実験の数が第1学年33、第2学年43、第3学年34掲載している。</p> <p>○内容の表現・表記については、第3学年巻末の内容において、二次元コードは、「自由研究にチャレンジしよう」「行ってみよう！科学館・博物館」「基本操作」で示している。</p>	<p>○知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫については、補充的な学習として、単元の導入部に「ふり返ろう・つなげよう」という枠組を設けている。また、単元末に、「学習のまとめ」を設定している。</p> <p>○単元の導入において、課題を設定するための工夫については、第3学年「化学変化とイオン」の単元において、「Can-Do List できるようになりたい目標」として、3観点で12項目を示している。</p> <p>○科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫については、各学年の巻頭に「どうする、探究の進め方」として探究の過程を示している。また、次の気づきにつなげている。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、補充的な観察・実験の数が第1学年9、第2学年24、第3学年13掲載している。</p> <p>○内容の表現・表記については、第3学年巻末の内容において、二次元コードは、「SDGsを意識して脱炭素社会へ」「基本操作」「資料」「発展」で示している。</p>	<p>○知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫については、補充的な学習として、各単元の導入部に「学んでいくこと」という枠組を設けている。また、単元末に、「基本問題」「活用問題」を設定している。</p> <p>○単元の導入において、課題を設定するための工夫については、第3学年「化学変化とイオン」の単元において、オンネトー（北海道足寄町）の写真に掲載し、イオンとは何か調べていくことを投げかけている。</p> <p>○科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫については、各学年の巻頭に「探究の進め方」として探究の過程を示している。また、新たな疑問を見つける活動を設定している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、補充的な観察・実験の数が第1学年35、第2学年42、第3学年31掲載している。</p> <p>○内容の表現・表記については、第3学年巻末の内容において、二次元コードは、「校外の施設を活用しよう」「基礎技能」「問題の解答例」で示している。</p>	<p>○知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫については、補充的な学習として、章の導入や関連する内容の近くに「つながる学び」という枠組を設けている。また、単元末に、「力だめし」を設定している。</p> <p>○単元の導入において、課題を設定するための工夫については、第3学年「化学変化とイオン」の単元において、「学ぶ前にトライ！」として「金属はどこにいったの？」と投げかけている。（二次元コードあり）。</p> <p>○科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫については、各学年の巻頭に「理科の学習を進める「探究の過程」」として探究の過程を示している。また、表現する活動を設定している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、補充的な観察・実験の数が第1学年43、第2学年48、第3学年33掲載している。</p> <p>○内容の表現・表記については、第3学年巻末の内容において、二次元コードは、「サイエンス資料」「解答と解説」で示している。</p>

選定結果資料 種目 [音楽（一般）]

発行者名	教 出	教 芸
特 徴	<p>○題材の学習目標等の示し方については、鑑賞教材 歌舞伎「勸進帳」の活動のポイントとして、次の2点を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎の音楽の役割や効果を考えながら鑑賞しよう。 ・音楽の特徴を舞台の表現と関わらせ、多様な表現を聴き取ろう。 <p>○音楽的な見方・考え方を働かせる工夫については、活動のポイントや学習活動の中で、音楽を形づくっている要素を使って示している。</p> <p>○興味・関心を高めるための工夫については、巻頭の「With My Heart 音楽はメッセージ」で音楽家の言葉と写真、「作者の思いにふれる」で作曲家の直筆譜を掲載している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、全学年「歌唱」「鑑賞」「創作」の領域・分野を扱っている。また、「Sing!Sing!」及び「Let's Try!」については、関連する教材に付帯して配列している。</p> <p>○内容の表現・表記については、第2・3学年「花」において、二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページに、アクセスできる。</p>	<p>○題材の学習目標等の示し方については、鑑賞教材 歌舞伎「勸進帳」の活動のポイントとして、次の3点を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「勸進帳」は、日本の伝統芸能である歌舞伎の作品です。 ・声や楽器の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、長唄のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ・音楽、舞踊、演技が一体となった歌舞伎のよさや美しさを味わいましょう。 <p>○音楽的な見方・考え方を働かせる工夫については、音楽を形づくっている要素を学習目標の下に示すとともに、活動文や考えたいポイントをキャラクターの吹き出しの中で使っている。</p> <p>○興味・関心を高めるための工夫については、巻頭の「音楽ってなんだろう？」の中で、宇宙飛行士、人類進化学者、アートディレクターの言葉と関連する写真等を掲載している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、第1学年では「歌唱」「鑑賞」「創作」を扱っており、「創作」は関連する教材の後ろに配列している。また「鑑賞」に関連する「歌唱」の教材を後ろに配列している。第2・3学年上及び第2・3学年下においても「歌唱」「創作」「鑑賞」を扱っており、「鑑賞」に関連する「歌唱」の教材を後ろに配列している。</p> <p>○内容の表現・表記については、第2・3学年「花」において、二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページにアクセスできる。また、パート別とカラピアノの音源を掲載しているページに、アクセスできる。</p>

選定結果資料 種目 [音楽 (器楽合奏)]

発行者名	教 出	教 芸
特 徴	<p>○器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫については、リコーダーの奏法、身体の使い方に関する記載において、姿勢とかまえ方の写真を斜め前方向から撮影し掲載している。</p> <p>○音楽的な見方・考え方を働かせる工夫については、演奏の例を示すとともに、構成を書き込む表を設けている。</p> <p>○興味・関心を高めるための工夫については、リコーダーの学習において、リコーダーの運指表を掲載し、リコーダーの変遷について、写真を掲載し、説明している。また、リコーダーの種類についての写真を掲載している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、楽器別カテゴリ別教材数及び合奏・アンサンブルのカテゴリ別教材数が71曲掲載している。内容の構成については、リコーダー→篠笛→尺八→ギター→箏→三味線→太鼓→合奏→名曲旋律集→資料となっている。</p> <p>○内容の表現・表記については、デジタルコンテンツの活用において、掲載曲やサミングについての動画、アーティキュレーションについて、2つの奏法の音源が示されている。</p>	<p>○器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫については、リコーダーの奏法、身体の使い方に関する記載において、姿勢と構え方の写真を真正面と真横から撮影し掲載している。</p> <p>○音楽的な見方・考え方を働かせる工夫については、注目するポイントとして、音楽を形づくっている要素を示し、キャラクターの吹き出しで考える観点を例示している。</p> <p>○興味・関心を高めるための工夫については、リコーダーの学習において、リコーダーの運指表を掲載し、「替え指を活用しよう」について説明し、リコーダーの仲間について、写真を掲載し、説明している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、楽器別カテゴリ別教材数及び合奏・アンサンブルのカテゴリ別教材数が52曲掲載している。内容の構成については、リコーダー→ギター→箏→三味線→太鼓→篠笛→尺八→打楽器→アンサンブル曲→楽器でMelody→資料となっている。</p> <p>○内容の表現・表記については、デジタルコンテンツの活用において、奏者の情報、姿勢と構え方、タンギングについての動画、教材曲の伴奏の音源、「学びのコンパス アーティキュレーションを工夫しよう」のワークシートが示されている。</p>

選定結果資料 種目 [美術]

発行者名	開隆堂	光村	日 文
特 徴	<p>○形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫については、巻末に「学びの資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。</p> <p>○表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫については、第1学年巻末資料「学びの資料」において、「発想・構想のヒント」のページを設け、デザイナーが創作活動をする際の具体的な言語活動や、生徒が学習の中で発想・構想する際の方法を示している。</p> <p>○興味・関心を高めるための工夫については、鑑賞において、作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を拡大したり、原寸大の図版で示したりしている。</p> <p>○内容の構成・配列については、題材等を分野等に分けて配列している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学びの資料」 <p>○内容の表現・表記については、デジタルコンテンツの活用において、各題材名の下に「CONTENTS」や巻末資料の一部に、活動に必要な技法や生徒作品等を二次元コードで示している。</p>	<p>○形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫については、巻末に「学習を支える資料」及び通年で使用できる、別冊「美術1資料」に、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。</p> <p>○表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫については、美術1資料「つくってみよう見てみよう」において、「発想・構想のために」のページを設け、マッピングやピラミッドチャート等、生徒が学習の中で発想・構想する際の方法を示している。</p> <p>○興味・関心を高めるための工夫については、鑑賞において、作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、紙質とページの大きさを変えたりして示している。</p> <p>○内容の構成・配列については、題材等を分野等に分けて配列している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学習を支える資料」 <p>※美術1に別冊で「資料 つくってみよう 見てみよう」</p> <p>○内容の表現・表記については、デジタルコンテンツの活用において、別冊「美術1資料」や巻末資料「学習を支える 資料一覧」に、全国の生徒の作品や用具の使い方等を二次元コードで示している。</p>	<p>○形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫については、巻末に「学習を支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。</p> <p>○表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫については、第1学年巻末資料「学習を支える資料」において、「発想・構想の手立て」のページを設け、アーティストが創作活動をする際の具体的な言語活動や、生徒が学習の中で発想・構想する際の方法を示している。</p> <p>○興味・関心を高めるための工夫については、鑑賞において、作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載したり、折って立てられるようにしたり、作品の一部を原寸大の図版で示したりしている。</p> <p>○内容の構成・配列については、題材等を分野等に分けて配列している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学習を支える資料」 <p>○内容の表現・表記については、デジタルコンテンツの活用において、各題材にある「学びのはじめに」や巻末資料「学習を支える資料」に、導入時に活用できる動画等を二次元コードで示している。</p>

選定結果資料 種目 [保健体育]

発行者名	東 書	大 日 本	大 修 館	学 研
特 徴	<p>○知識及び技能の習得を図る工夫については、「見つける」として、日常経験や小学校で学習したことを基にした課題を提示し、「学習課題」において、本時の課題を設定している。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫については、「㊟」として、思考するための発問を設定するとともに、「活用する」として、習得した知識及び技能を活用し、思考する活動を設定している。</p> <p>○自己の課題の発見や、解決に向けた学習活動の設定については、「健康な生活と疾病の予防」において、学習したことを基に、感染症を予防するために、自分たちの学校全体で取り組むべき対策を考える活動を位置付けている。</p> <p>○発展的な学習に関する内容の工夫については、「発展」として「学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」と巻頭に示し、本編では19か掲載している。</p> <p>○技能の習得につながるデジタルコンテンツの活用については、二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画等）を掲載したページにアクセスすることができる。 (デジタルコンテンツを掲載している単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年保健編2章 心身の機能の発達と心の健康（2点） ・2年保健編3章 傷害の防止（11点） 	<p>○知識及び技能の習得を図る工夫については、「学習のねらい」として、学習を通して解決する課題を提示し、「つかもう」において、学習の導入を設定している。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫については、「つかもう」として、学習の初めの発問を設定するとともに、「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」及び「活用して深めよう」として、学習したことを生かして思考できる活動を設定している。</p> <p>○自己の課題の発見や、解決に向けた学習活動の設定については、「健康な生活と疾病の予防」において、インフルエンザ予防のために、私たちにできることをまとめる活動を位置付けている。</p> <p>○発展的な学習に関する内容の工夫については、「発展」として「学習指導要領には示されていない発展的な学習内容です。興味・関心に応じて学習しましょう。」と巻頭に示し、本編では15か所掲載している。</p> <p>○技能の習得につながるデジタルコンテンツの活用については、二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画等）を掲載したページにアクセスすることができる。 (デジタルコンテンツを掲載している単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年保健編4章 傷害の防止（12点） 	<p>○知識及び技能の習得を図る工夫については、「課題をつかむ」として、これまでの経験や学習を基にした課題を提示し、「きょうの学習」において、本時の学習課題を示している。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫については、「課題をつかむ」として、気づきや思考を促す発問を設定している。</p> <p>○自己の課題の発見や、解決に向けた学習活動の設定については、「健康な生活と疾病の予防」において、感染症のリスクを減らす5つの具体的な行動を「発生源をなくす」「感染経路を断つ」「体の抵抗力を高める」の3つの対策に分類する活動を位置付けている。</p> <p>○発展的な学習に関する内容の工夫については、「発展」として「学習指導要領の範囲外の内容です。先生の指示にしたがって学習しましょう。」と巻頭に示し、本編では13か所掲載している。</p> <p>○技能の習得につながるデジタルコンテンツの活用については、二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画等）を掲載したページにアクセスすることができる。 (デジタルコンテンツを掲載している単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年保健② 心身の発達と心の健康（4点） ・2年保健④ けがの防止と応急手当（7点） 	<p>○知識及び技能の習得を図る工夫については、「ウォームアップ」として、事例や情報などの問いから課題を提示し、「学習の課題」で、1時間の学習を通して身に付けることや、考えたり、判断したりすることを提示している。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫については、「エクササイズ」として、学習した知識及び技能や資料などの情報を基に、思考したり、話し合ったりする活動を設定している。</p> <p>○自己の課題の発見や、解決に向けた学習活動の設定については、「健康な生活と疾病の予防」において、自分のクラスが学級閉鎖になったとして、症状のない自分は、どのように過ごすのがよいかを考える活動を位置付けている。</p> <p>○発展的な学習に関する内容の工夫については、「発展」として「学習指導要領の範囲外で、興味・関心などに応じて取り組む「発展的な学習内容」」と巻頭に示し、本編では19か所掲載している。</p> <p>○技能の習得につながるデジタルコンテンツの活用については、二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画等）を掲載したページにアクセスすることができる。 (デジタルコンテンツを掲載している単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年保健編2章 心身の機能と心の健康（3点） ・2年保健編4章 傷害の防止（8点）

選定結果資料 種目 [技術・家庭（技術分野）]

発行者名	東 書	教 図	開 隆 堂
特 徴	<p>○基礎的・基本的な知識及び、技能の習得を図るための工夫については、それぞれの編の学習のまとめとして、「1 学習したことを確かめよう」「2 考えを深めよう」「3 生活に生かそう」と2ページにわたり示している。</p> <p>○技術の見方・考え方を働かせるための工夫については、各内容の冒頭「技術の見方・考え方」において、身近な技術の具体例を取り上げるとともに、技術に込められた工夫や、技術を最適化する際に着目する視点について掲載している。</p> <p>○社会の発展と技術について考えさせるための工夫については、「技術分野の学習を終えて」において、これまでの学習を振り返り、これから技術とどのように関わっていきたいか考えをまとめさせる記述を掲載するとともに、社会の中で技術に携わる人へのインタビュー等を掲載している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、「B生物育成の技術」において、「卒業式に開花するようにパンジーを育てる」「文化祭に開花するようにキクを育てる」等の具体例を示している。</p> <p>○各教科等と関連させて学習を進める工夫については、中学校の各教科等の学習内容との関連として、28 か所「リンク」マークを用いて、教科、内容等を示している。また、小学校の各教科等の学習内容との関連については、5 か所「リンク」マークを用いて、教科、内容等を示している。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び、技能の習得を図るための工夫については、編のまとめとして、1 知識・技能は穴埋めの問題で、2 思考・判断・表現は記述式で、1 ページで示している。</p> <p>○技術の見方・考え方を働かせるための工夫については、各内容の冒頭において、生活や社会を支える技術の具体例を取り上げるとともに、技術に込められた工夫について掲載している。</p> <p>○社会の発展と技術について考えさせるための工夫については、「夢をかなえる技術」において、これまで学んだ技術を振り返り、それらの技術を組み合わせることで開発された新たな技術を具体例で掲載するとともに、技術関係の専門高等学校に進んだ先輩や、様々な分野の日本の技術と、その技術を支える人々の想いを写真等で掲載している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、「B生物育成の技術」において、「部屋の中の小さなスペースを活用して、ベリーリーフを育ててみよう」「入学式に花を飾りたい低温処理によるチューリップとパンジーの寄せ植え」等の具体例を示している。</p> <p>○各教科等と関連させて学習を進める工夫については、中学校の各教科等の学習内容との関連として、11 か所「関連」マークを用いて、教科を示している。また、小学校の各教科等の学習内容との関連については、8 か所「関連」マークを用いて、教科を示している。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び、技能の習得を図るための工夫については、学習のまとめとして、「～について答えなさい」「～について書き表しなさい」等のテスト形式で2ページにわたり示している。</p> <p>○技術の見方・考え方を働かせるための工夫については、各内容の冒頭において、製品の進歩の具体例を取り上げるとともに、技術に込められた工夫や、技術を最適化する際に着目する視点について掲載している。</p> <p>○社会の発展と技術について考えさせるための工夫については、「技術分野の学習を終えて」において、3年間の学習を振り返り、その成果や反省、将来に向けて生かそうとすることなどを考えさせる記述を掲載するとともに、社会が抱える問題と、それを解決している新しい技術の具体例を掲載している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、「B生物育成の技術」において、「リーフレタスの養液栽培」「チューリップの栽培」等の具体例を示している。</p> <p>○各教科等と関連させて学習を進める工夫については、中学校の各教科等の学習内容との関連として、4 か所「他教科」マークを用いて、教科、内容等を示している。また、小学校の各教科等の学習内容との関連については、4 か所「小学校」マークを用いて、教科、学年、内容等を示している。</p>

選定結果資料 種目 [技術・家庭（家庭分野）]

発行者名	東 書	教 図	開 隆 堂
<p>特 徴</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫については、各内容とも、項目ごとに見出しの下に「目標」を1つまたは2つ示している。「キーワード」マークをつけ、関連する語句を示している。基礎的な用語のうち、重要な語句は本文と異なる書体を用いた太字で表記している。</p> <p>○生活の中から課題を見いだすための工夫については、各編の導入には課題設定の記入欄を設け、自分の知りたいことやできるようにしたいことを記入することで、生活の課題と実践へとつなげている。</p> <p>○「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫については、「家庭分野ガイダンス」において、生活の営みに係る見方・考え方をイラストやマークを用いて解説するとともに、具体的な例をあげてわかりやすくしている。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、発展的な学習の取り扱いとして、発展のマークを付してあり、「学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」という説明がある。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、動画、シミュレーションなどにつながる二次元コードを表示している。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫については、各内容ともに、項目ごとに、「めあて」マークを付け、目標を1つ又は2つ示している。めあての下に「キーワード」マークをつけ、関連する語句を示している。基礎的な用語のうち、重要語句は青色の太字で表記している。</p> <p>○生活の中から課題を見いだすための工夫については、各節の導入には自分の生活を見つめるきっかけとなるコーナーを設定している。</p> <p>○「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫については、「生活の営みに係る見方・考え方」を「ガイダンス「つなぐ、つながる」×家庭分野」において、キーワードを用いて説明している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、発展的な学習の取り扱いとして発展のマークを付してあり、「学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて取り組んでみましょう。」という説明がある。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、ワーク、予習・復習に活用できる動画などにつながる二次元コードを表示している。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫については、各内容とも、項目ごとに「学習の目標」を1つ又は2つ示している。基礎的な用語のうち、重要な語句は本文と異なる書体を用いた太字で表記している。</p> <p>○生活の中から課題を見いだすための工夫については、各編の導入には生徒の身近な話題を用いており、「～で学習する内容」、各節には「学習の目標」を示している。</p> <p>○「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫については、家庭分野のガイダンス「家庭分野の学び方と身につけたい力」において、生活の営みに係る見方・考え方の視点を示している。</p> <p>○内容の構成・配列・分量については、発展的な学習の取り扱いとして、発展のマークを付してあり、「発展的な学習の内容（学習指導要領に示されているものではなく、一律に学習しなければならない内容ではない）」という説明がある。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、資料や動画などにつながる二次元コードを表示している。</p>

選定結果資料 種目 [英語]

発行者名	東 書	開 隆 堂	三 省 堂	教 出	光 村	啓 林 館
特 徴	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫については、Story (1学年Unit 1～4) 及びPart 1・2にそれぞれKey Sentence を用いて表現するYour TurnやPracticeを設定している。</p> <p>○単元における言語活動の工夫については、各単元にRead and Thinkがあり、内容の概要を捉えたあとにペアトークなどの活動がある。</p> <p>○単元に対する興味・関心を高めるための工夫については、第3学年Unit 1において、二次元コードでPreview：アニメ(字幕ON/OFF)、各Part：語句(音声/クイズ)、Key Sentences(動画/クイズ)等を掲載したページにアクセスすることができる。</p> <p>○小学校外国語科との接続を図った構成・配列については、小学校の既習単語、既習表現に「小」のマークがついている。</p> <p>○内容の表現・表記については、学習到達目標及び自らの学びを振り返る場において、Stage 1～Stage 3として、段階ごとに各領域別に当該学年の学習到達目標を設定し、それぞれを4段階で自己評価できるよう示している。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫については、Scenesに、全学年とも具体的な場面で示し、単元の新出文法を対話研式で紹介している。</p> <p>○単元における言語活動の工夫については、各単元のScenesに、新出文法が場面使用されており、単元当初から言語の使用場面が示されている。</p> <p>○単元に対する興味・関心を高めるための工夫については、第3学年PROGRAM 1において、二次元コードでScenes：対話、Listen、語句、動画 Tuning in：Listen、動画等を掲載したページにアクセスすることができる。</p> <p>○小学校外国語科との接続を図った構成・配列については、「小学校の単語」にふたばマークをつけている。</p> <p>○内容の表現・表記については、学習到達目標及び自らの学びを振り返る場において、各PROGRAMに「できること」を3つずつ表記し、各領域の学習到達目標を具体的に設定し、それぞれ3段階で自己評価できるように示している。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫については、LessonのExercise(1学年はLesson 5以降)は、Listen→Talk/Speak→Writeの流れで、新出文法(Check)を設定している。</p> <p>○単元における言語活動の工夫については、各単元終末の言語活動である「Goal Activity」に向け、言語活動を設定している。</p> <p>○単元に対する興味・関心を高めるための工夫については、第3学年Lesson 1において、二次元コードでとびら：写真、動画、アニメーション、資料動画等を掲載したページにアクセスすることができる。</p> <p>○小学校外国語科との接続を図った構成・配列については、小学校で学んだ語句や表現をカテゴリ別に、イラストと共に掲載している。</p> <p>○内容の表現・表記については、学習到達目標及び自らの学びを振り返る場において、領域毎に2～3つの項目の学習到達目標を設定し、「自信を持ってできる」「ひとりでできる」「助けが求められる」「まだできない」の4段階で自己評価できるように示している。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫については、Part 1・2・3(第1学年はUnit 3以降)にTool Kit→Listen→Think&Tryを設定し、新出文法(Key Sentences)を設定している。</p> <p>○単元における言語活動の工夫については、各単元終末の言語活動である「Task」に向け、言語活動を設定している。</p> <p>○単元に対する興味・関心を高めるための工夫については、第3学年Unit 1において、二次元コードで扉：Words & Phrases 学習シート各Part：本文音声等を掲載したページにアクセスすることができる。</p> <p>○小学校外国語科との接続を図った構成・配列については、Word Listの小学校の単語ご印をつけている。</p> <p>○内容の表現・表記については、学習到達目標及び自らの学びを振り返る場において、書く領域別に当該学年の学習到達目標を設定し、それぞれ4段階で自己評価できるよう示している。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫については、Part 1、2、3それぞれListen→Speak→Writeの流れで新出文法を設定している。</p> <p>○単元における言語活動の工夫については、Unitの最後のGoalにおいて、Unitで学習した言語材料を用いて話すこと・書くことを設定している。</p> <p>○単元に対する興味・関心を高めるための工夫については、第3学年Unit 1において、扉：Listen、ピクチャーカード並べかえ、Watch(アニメ/ドラマ)等を掲載したページにアクセスすることができる。</p> <p>○小学校外国語科との接続を図った構成・配列については、「Word List」と基本本文のまとめに小学校で習った後にマークをつけている。</p> <p>○内容の表現・表記については、学習到達目標及び自らの学びを振り返る場において、領域毎に2～3項目、学年の学年到達目標を設定し、それぞれ「まだ難しい」「助けが求められる」「できる」「自信をもってできる」の4段階で自己評価できるよう示している。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫については、Read & Thinkに、各Partで学習した新出文法を設定している。</p> <p>○単元における言語活動の工夫については、各単元末のThink & Speakに向けた言語活動が設定されている。</p> <p>○単元に対する興味・関心を高めるための工夫については、第3学年Unit 1において、扉：Listen 音声/スライドショー、Words 音声、本文アニメーション、本文音声(Part 1～3)等を掲載したページにアクセスすることができる。</p> <p>○小学校外国語科との接続を図った構成・配列については、Word Listでは、小学校の単語に印をつけている。</p> <p>○内容の表現・表記については、学習到達目標及び自らの学びを振り返る場において、各領域で3項目ずつ学習到達目標を設定し、できるようになった項目に4段階でチェックをするようにしている。</p>

選定結果資料 種目 [道 徳]

発行者名	東 書	教 出	光 村	日 文	学 研	あ か 図	日 科
特	○道徳科の学び方等の示し方については、「1年間で学ぶこと」において、見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目を示す言葉と教材名等を示し、中学生ひなになってやってみたいことを書く欄を1箇所設けている。	○道徳科の学び方等の示し方については、「さあ、道徳を始めよう！」において、1ページに、学習の流れ等を「問題に気づく」「考え、話し合う」「深める」「つなぐ」の4つのイラストや吹き出しとともに示している。	○道徳科の学び方等の示し方については、「本書で学ぶ皆さんへ」において、見開き2ページに、手引きを「①考えよう」「②見方を変えて」「③つなげよう」の3つで示している。また、二次元コード、タブレット端末の活用等について示している。	○道徳科の学び方等の示し方については、「道徳科での学びを始めよう！」において、1ページに、デジタルコンテンツの活用についてイラストや吹き出しを使い、学習の流れ等を「①気づく」「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の3つで示している。	○道徳科の学び方等の示し方については、「さまざまなテーマで学ぼう」において、見開き2ページに、13個のテーマをイラストや写真等とともに示し、今、気づいていること、夢中になっていることを書く欄を1箇所設けている。	○道徳科の学び方等の示し方については、「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」において、見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目をマークとともに示している。	○道徳科の学び方等の示し方については、「さまざまなテーマから考えを深めよう」において、見開き2ページに、テーマを8個、教材名等とともに示している。
	○考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫については、巻末に、授業での取組や心に残った教材等を記入するページを設けている。	○考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫については、巻末に、心に残った教材や一番考えさせられた教材等を記入するページを設けている。	○考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫については、巻末に、心に残ったことや1年間の学習の振り返り等を記入するページを設けている。	○考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫については、別冊「道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業や考えたこと等を記入するページを設けている。	○考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫については、巻末に、授業での取組や心に残った授業等を記入するページを設けている。	○考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫については、巻末に、授業での取組や心に残った授業等を記入するページを設けている。	○考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫については、巻末に、自分自身が思いついた「ウェルビーイング」のキーワードを書く欄を設けている。
徴	○問題解決的な学習を取り入れた工夫については、「Plus」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○問題解決的な学習を取り入れた工夫については、教材文の終わりに「学びの道しるべ」に、学習過程の例を示している。	○問題解決的な学習を取り入れた工夫については、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○問題解決的な学習を取り入れた工夫については、「学びを深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○問題解決的な学習を取り入れた工夫については、「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○問題解決的な学習を取り入れた工夫については、「マイ・プラス」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○問題解決的な学習を取り入れた工夫については、教材文の終わりに「考えよう」「深めよう」に、学習過程の例を示している。
	○現代的な課題等を踏まえた内容の示し方については、いじめ問題の扱いにおいて、3つの教材をまとめたいじめ問題対応ユニット「いじめのない世界へ」を設け、巻末の「テーマでふり返ろう」に、「人権・いじめ」をテーマとした教材を示している。	○現代的な課題等を踏まえた内容の示し方については、いじめ問題の扱いにおいて、2つの教材とコラムで構成されたユニット「いじめをなくそう」を設け、巻頭の「この教科書で学べるテーマ」に、「いじめ・人権」をテーマとした教材を示している。	○現代的な課題等を踏まえた内容の示し方については、いじめ問題の扱いにおいて、3つの教材をまとめたいじめ問題対応ユニット「いじめを許さない」について考える」を設け、巻末の「教材別テーマ一覧」に、「いじめを許さない」をテーマとした教材を示している。	○現代的な課題等を踏まえた内容の示し方については、いじめ問題の扱いにおいて、いじめを扱った教材とコラムをユニット化し、年間で複数配置している。いじめを扱う最初のユニットに、扉ページ「いじめめと向き合う」を設定し、巻頭において、「いじめめと向き合う」をテーマとした教材を示している。	○現代的な課題等を踏まえた内容の示し方については、いじめ問題の扱いにおいて、いじめの問題をテーマとした複数の教材を特設ページとともに年間を通して複数配置している。また、巻頭の「さまざまなテーマで学ぼう」に、「いじめ防止」をテーマとして示している。	○現代的な課題等を踏まえた内容の示し方については、いじめ問題の扱いにおいて、3つの教材をまとめたいじめ問題対応ユニット「いじめのない世界へ」を設け、巻頭の「いろいろなテーマから学ぶ」に、「いじめ」をテーマとした教材を示している。	○現代的な課題等を踏まえた内容の示し方については、いじめ問題の扱いにおいて、いじめの問題をテーマとした複数の教材を配置し、巻頭の「さまざまなテーマから考えを深めよう」に、「いじめ・人権」をテーマとした教材を示している。
	○内容の表現・表記については、教材の内容を理解させる工夫として、「朗読音声」「ワークシート」「Webサイト」「資料」「VR映像」「心情円」映像「他教科リンク」のマークを設定し、二次元コード等とともに示している。	○内容の表現・表記については、教材の内容を理解させる工夫として、「まなびリンク」のマークを設定し、二次元コード等を示している。	○内容の表現・表記については、教材の内容を理解させる工夫として、朗読、資料、動画等の二次元コードを示し、「本書で学ぶ皆さんへ」のページ内で、デジタルコンテンツの使い方示している。	○内容の表現・表記については、教材の内容を理解させる工夫として、動画や音声等の二次元コードを示している。	○内容の表現・表記については、教材の内容を理解させる工夫として、動画、写真、関連サイト、ワークシート、年表等の二次元コードを示している。	○内容の表現・表記については、教材の内容を理解させる工夫として、目次、該当する教材格の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。	○内容の表現・表記については、教材の内容を理解させる工夫として、目次、該当する教材格の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している。

